Atsuko Kudo Mail Magazine188

2012.09.28　●神のことば

お元気でいらっしゃいますか？
８月から９月にかけて、十分な休息を取ることが出来ました。また、ドイツの兄弟姉妹と祈り合い、みことばを深く語り合う実に幸いな交わりの時を過ごし、霊的励ましを受けて、21 日、無事、大阪にやってまいりました。
こちらは、日中 30 度を超える暑さが続いています。暖房を入れるほど涼しいドイツから来た私にはこたえますが、夜も寝られない猛暑を通過されて来たこちらの皆さんは、何と「やっと涼しくなりました」とおっしゃいます。

さて、上の写真は、ハンブルクの港町の Osakaallee(大阪並木道、Allee は並木道のこと)の標識です。ハンブルクは、1989 年、同じ港町である大阪市と姉妹都市同盟を結びました。それを記念し、ハンブルク港周辺のハーフェンシュタット（港町）の通りのひとつを、「大阪並木道」と命名しました。「大阪並木道」を下ると、「韓国通り」と「東京通り」が交差し、その通りを、今度は「上海通り」、「香港通り」が交差しています。

尖閣諸島問題により、９月 29 日～10 月 3 日に予定していた中国での賛美奉仕予定が、残念ながらキャンセルになりました。今、ハンブルクのハーフェンシュタットを思い出しながら、私たちが仲良く行き交う関係への回復を、心から主に祈り求めています。

●神のことば

一昨年まで、聖書全体を体系的に理解できるように、かなり急ぎ足で各書通読の学びをしてきました。けれども、昨年より、体系的な学びをキープしながらも、朝のデボーションでは、聖書の一か所、時には、たった数節を、「じっくり読む」生活を始めました。ある方が、「森ばかり見ていてはいけない。そこにある木を、葉をじっくり見よ。その上で森を見よ」と言われたことばに、ハッとさせられたからです。以来、みことばの新たな世界が広がるようになりました。

今年８月にオランダで開催された「ヨーロッパ・キリスト者の集い」の礼拝の司会準備をしていた時のことです。集いのテーマであった「山上の垂訓」の聖書箇所を幾度もじっくりと読み進める中で、そこから語られる霊的啓示のあまりの素晴らしさに圧倒させられました。

そして、ある日、突然気付かされたことがありました。それは、礼拝の中心は、「聖書朗読」であることでした。

私は、これまで、礼拝の中心は、「メッセ―ジ」、つまり、「みことばの説き明し」だと思ってきました。礼拝の賛美のプログラミングは、メッセージに向かって選曲をし、メッセージ後は、その応答としての賛美曲を選んできました。しかし、メッセージ前に読まれる「聖書朗読」に関しては、何の注意も払って来なかったのです。けれども、メッセージは人の解釈が加わるので、完全なものではありません。賛美も、聖書のみことばを歌うものは別として、人が作ったことばですから、これも完全なものとはいえないのです。しかし、「神のことば」は完全です。それならば、「聖書朗読」こそが礼拝の中心であり、朗読者は、厳粛な準備をもってその奉仕に臨まなければならないと思ったのです。

それに気付いた直後、あるメッセンジャーの先生と一緒に、集会の奉仕をさせていただく機会がありました。さっそくその先生に、そのことをお分かちしました。先生は、「その通りです」と深くうなずき、そして、「自分がメッセージをする最大の目的は、聞いてくださる方に、私のことばではなく、聖書のことばが残ることです」とおっしゃったのです。

ちなみに、その先生の教会の聖書朗読奉仕者は、その聖書箇所が理解できるように祈りつつ、またメッセンジャーが正しくみことばを取り次ぐことができるようにとりなしの祈りを捧げながら、聖書箇所を 100 回読んで奉仕に備えるそうです。

さて、その先生は、集会で聖書箇所を、ゆっくりと 2 回繰り返して読みました。それからメッセージをなさいました。集会後、私の内側に残ったのは、先生の釈義ではなく、確かに、聖書のことばの方でした。この先生は、感動的なメッセージをすることではなく、あくまでもみことばに仕えておられる方なのだと思いました。あの時心に残ったみことばは、今もくさびのように私の内側にしっかりと打ち付けられています。

あれ以来、私は、これからの伝道コンサートのあり方を考えさせられるようになりました。歌の素晴らしさではなく、ましてや声や歌唱の素晴らしさでもなく、その場限りの霊の満たしだけを求めるのでもない。「神のことば」、「福音」が聞いてくださる方の心に残ること。「神のことば」が聖霊の力によって人々のたましいに語られ、救いに導き、働いてくださること。これが、今秋の伝道コンサートの課題です。お祈りください。

●10 月のコンサートのためにお祈りください

10 月 14 日（日）宝塚栄光教会　賛美コンサート　16:00~
ハープ：キャサリン・ポーター、ピアノ：野田常喜　　連絡先：Tel. 0797-73-6076

10 月 21 日（日）インマヌエル綜合伝道団四日市キリスト教会
「40 周年記念コンサート」13:30~ ピアノ：野田常喜
連絡先：059-351-7909

10 月 28 日（日）14:00~日本フリーメソジスト
神楽町教会　「心を高く上げよう」
地中海ソプラノ工藤篤子コンサート
アコスティックギター：梶原豊、ピアノ：野田常喜
連絡先：0798-33-1941

10 月 30 日（火）～11 月 9 日（金）　台湾コンサートツアー

※11 月以降のスケジュールは、ホームページをご参照ください。

●ANRC 大会参加者、賛美者募集！ http://allnations.jp/anrc12/

日時：11 月 22 日（水）～25 日（日）　会場：ヤマハリゾート　つま恋（静岡県掛川市）

All Nations Returnees Conference は、海外で信仰に導かれたクリスチャンが、日本に戻ってなかなか教会につながらないとか、多くが信仰から離れていくという実態に、少しでもそれらを極小化できないものかという動機から始まりました。現在、ディアスポラ（帰国者及び外国居住者）の方々が、日本各地域でつながり、ネットワークが拡がっています。

ANRC2012 では、佐藤彰師（福島第一バプテスト教会牧師）、マイケル・オー師（キリスト聖書神学校校長）、内村伸之師（ミラノ賛美教会牧師）がメッセンジャーとして、そして私、工藤篤子が 24 日（土）夜の「賛美コンサート」にて奉仕させていただく予定です。海外からの帰国者を始め、神の家族である全ての皆様に参加を呼び掛けています。現在、特別支援参加料金（先着順、定員枠あり。どうぞお早めに！）が設定されましたので、詳しくは HP をご覧ください。皆さんの参加をお待ちしています。

また、「賛美コンサート」では、佐々木潤さんの「詩篇 103」、バッハ・ロ短調ミサの「キリエ」、ヘンデル・メサイヤの「ハレルヤコーラス」を一緒に賛美してくださるクワイヤメンバー、並びに器楽奏者を募集しています。あなたも一緒に賛美しませんか？詳しくは HP をご覧ください。

～～

10 月にまた近況報告をさせていただきます。
青空の美しい秋、皆さまの上に、主の溢れる恵みが共にありますように！

Atsuko Kudo